

登録コード	SSG06604	開講年度	2026					
授業題目	特別研究（物質循環学ユニット）					担当教員	村越 直美	
英文授業名	Special Research (Environmental Science Unit)					副担当		
単位数	6	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	不定期			
講義室						備考	担当	地球システム解析講座・生態システム解析講座 各教員
信大コンベンション	非該当							
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】					⇔	【授業の達成目標】	
	2 6SSカリ・理学, 2 5SSカリ・理学, 2 4SSカリ・理学							
	【DP5】専門知識に基づいた見識を持ち, その妥当性を理論的に説明し, 議論する能力					⇔	研究活動を通じて, 最新の知見を探索し総合的に理解したうえで, 独自の研究を発展させる。	
(2)授業の概要	学生は, フィールドワークや実践を重視した研究計画を立て, 独創性に富んだ成果を目指す。また, 各種の学会での情報収集や研究発表を通じて, 知識・研究意欲と能力を高め, 国内的にも国際的にも高く評価される水準の研究を目標とする。							
(3)授業のキーワード	フィールド調査・研究, 情報収集能力, 分析能力, 情報発信能力							
(4)授業計画	フィールドワークや実践を重視した研究計画を自ら立案し, 独創性に富んだ成果を目指す。 修士1年(12月頃)と2年の終盤(7月頃)に, 口頭による中間発表を行う。 修士論文を最終学年の1月末に提出し, 2月には公開で修論発表会を開催する。							
(5)成績評価の方法	指導教員のもとで計画した到達目標に達しているか否か, および研究成果の水準を審査の基準とし, 最終試験では, 論理的思考能力, 表現力, 問題解決能力, および修士課程における学生の成長度を評価の基準とする。目標達成度が90%以上を秀, 80-89%を優, 70-79%を良, 60-69%を可, 60%未満を不可とする。							
(6)成績評価の基準	下記の結果にもとづいて評価する。 ・研究をレビューし, ・指導教員等とセミナーで議論し, ・研究成果を修士論文としてまとめ, ・公表論文として発表する。							
(7)事前事後学習の内容	学部レベルの堆積環境学, 堆積学, 層序学等を履修済みであることが必要である。 学んだことは忘れるな。そのための復習と応用を常に意識・実践せよ。							
(8)履修上の注意	1年次で「堆積学特論」を履修済みであること。							
(9)質問,相談への対応	研究室へ直接, あるいはe-mailで(nao@shinshu-u.ac.jp) 行うこと。							
【教科書】	研究内容に沿って適宜周知する。							
【参考書】	必要に応じて随時指示する。							